



# すぎさん

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3shou/>

令和4年 7月号  
杉並区立杉並第三小学校  
〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13  
TEL 03-3314-1564  
FAX 03-3314-1449

## 考えて行動する

副校長 板垣 聡美

令和4年度、コロナ禍で学校生活をスタートした杉三小は、密を避けるために生活時間の休み時間を2つに分けて全校を半分に分けた休み時間にし、放課後遊びは行っていませんでした。5月末にリバウンド警戒期間が解除され、やっと従来の生活時程で生活が始まりました。と同時に、6時間授業の日その学年は放課後遊びも始まりました。この時間は、2年生以上の子どもたちが心待ちにしている時間でもあります。長い間、行われていませんでしたので、お便り・生活指導朝会・各学級の指導の中でも時間や約束について確認する機会をつくりました。思った通り、子どもたちは、放課後になると校庭のあちらこちらで楽しそうに遊んでいます。授業の合間の休み時間とは違う解放感もあるのか、生き生きとした姿に、こちら嬉しい気持ちになりました。ところが、1日、2日経ち帰った後の校庭にボールが寂しそうに転がっているようになりました。それを拾っては職員室で預かっていました。「ボールがなくなったので返してください」と休み時間に何人かがボールを取りに来ました。私は、なぜ、ボールが職員室に届いたのか考えて欲しいと伝えて、ボールを渡しませんでした。何日かして、4年生のA君が一人で私の所へ来ました。「ぼくは放課後に夢中で遊んでいて、ボールが転がっているのを知っていたけどそのままにして帰ってしまいました。すみませんでした。これからは、ちゃんと片付けるのでボールを返してください。」と話してくれました。私は、一人で正直に話しに来てくれたことがすごいと褒めました。でも、ボールは学級のみんなで使うものだから、学級にも今のことを伝えて使い方を考えてほしいと伝えました。次の日、Aさんを含む数人が「学級でボールの使い方を話し合いました。今度からはちゃんと片付けます、ボールを返して下さい」と、話しに来ました。私は快くボールを渡しました。

6月上旬は、強い雨が急に降り出すことがあり、服装やら傘やら、その日の持ち物にも戸惑う日がありました。ある日の朝、私が昇降口で子どもたちを迎えていると、6年生のBさんとCさんが私に「昨日借りた傘（学校の貸し傘）を返します。どこに返せばいいですか?」と、持ってきました。返す場所がわかりにくかったことを詫言いで受け取りました。

6月18日（土）合唱祭の保護者鑑賞日に向けて、会場準備は5年生、片付けは6年生にお願いしていました。17日（金）の前日準備の時間に5年生が体育館に約200客のパイプ椅子を並べてくれました。仕事を終えてみんなが教室に向かう中、ひとり黙々と椅子を整えるDさんがいました。よく見ると、自分で納得できる様に一つ一つの椅子の縦と横、向きを直していました。

紹介した3つの出来事は、この1か月に私の周りで起こった一部です。自分の失敗をどうやって解決しようか考えて行動した子ども、無責任になりがちな“みんなで使う物”を責任もって扱っていた子ども、任された仕事に自分の思いをもちやり通した子ども、それぞれの姿に心が温まり幸せな気持ちになりました。3組に共通していたのは、「自分で考えて行動したこと」「自分のためではなく誰かのためを思って行動したこと」でした。

子どもたちは、毎日、失敗や成功を繰り返しています。その一つ一つが子どもたちにとって、大切な経験となっていきます。私たち大人はその瞬間を捉えて、認めたり、一緒に考えたり、励ましたりしていきたいと思えます。その積み重ねが子どもたちの自信や生きる力に繋がっていくと考えます。これからも保護者の皆様、地域の皆様と共に、子どもたちの成長を見守り、支え、育てていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。